

早稲田大学 履修証明プログラム

早稲田公共政策カレッジ

～理論と実務から学ぶ政策形成実践講座～

————— WASEDA Public Policy College, Certificate Program

修了生の声

受講を検討される方へのメッセージ



第1期修了生

大西 健一様

(埼玉県熊谷市役所勤務)

受講動機

庁内の研修案内通知でプログラムを知り、それまで公共政策について十分に学び、考える時間がなかったため、日常の業務とは違った環境で、基礎から知識・理論を学び、今後の自身の業務に生かせるように、また、強みと言えるレベルまで成長できる基礎づくりができたと思ったのがきっかけです。

プログラムの魅力

- 一つの研修体系で、これほど幅広くかつ理論と実践をバランスよく学ぶことができるプログラムは他にないと思いました。また、公共政策というテーマの中で、ずばり公共政策という科目だけでなく、政策を考えていく上で必要だとされる分野を体系的に学べた点、さらに、どの講義も第一線で活躍されている先生方からのお話は、学問的な側面のみならず実態という部分も踏まえた内容であったため、知見が広がったと感じました。
- 様々な業種の民間企業の方が参加されており、その影響もあってか、行政サイドからの視点だけではなく、より幅広く意見交換ができ非常に参考になりました。また、講師の方々からの講義も、熱量のこもった、通常自分では経験できないようなお話を聞くことができたので、想像していた以上に貴重な経験ができました。
- 多くの講義で、「問題の正しい把握、原因の特定」や「データをそろえ、根拠を大事にすること」の重要性を学びました。これらのことは、事業の立案にかかわらず、日頃の業務そのものの質の向上、仕事に取り組む上での自身の意識変容にもつながったと思います。

早稲田公共政策カレッジ 修了生の声



第1期修了生

長船 光紘様

(ソフトバンク株式会社勤務)

受講動機

私は2020年から東京都庁、2022～2024年はデジタル庁に在籍し、その後ソフトバンクへ戻り国との接点を持つ業務に就いています。これら行政と関わる業務経験を積む中で、政策のフレームワークや理論を体系的に理解することで更に業務の質を向上させたいと思い始めていたところに、職場から本講座の紹介を受け、受講を決意しました。

プログラムの魅力

- 自治体や官公庁の方々と議論する中で、前向きな発言や価値観の多様性に触れ、視野が大きく広がりました。また、自治体・行政の皆さんと“共通のフレーム”で議論できるようになったことで、一段上の視座から公共のテーマを俯瞰できるようになり、非常に良い経験となりました。
- 財務に関する科目が印象に残っています。自分が見るべき財源のポイントや、自治体の優先順位を読み取る視点を得ることができ、今後より踏み込んだ提案ができるのではないかという大きな気づきも得られました。また、PBLではフレームワークを使いながら原因分析から政策提案まで進めるプロセスが大きな学びで、立場を問わず公共課題の解決に向けたビジョンを共有し、視座を高める良いトレーニングになりました。
- 行政や政策づくりの理論と実践を体系的に学びたい方、利害関係なく、異なる年代の方とフラットに議論できる仲間を得たい方に強くお勧めしたいプログラムです。大学だからこそ得られる価値が確実にありますので、ぜひ飛び込んでいただければと思います。

早稲田公共政策カレッジ 修了生の声



第1期修了生

竹内 千晶様

(東京都中野役所勤務)

受講動機

私は民間企業から転職して福祉職として6年目になりますが、もともと民間での経験を生かして行政のまちづくりに関わりたいという思いがありました。政策立案やより良い社会・まちづくりのプロセスを学びたいという動機から、このカレッジの科目を見たときに「ここでなら政策をどのように実現していくのかが見える」と期待し、受講を決めました。

プログラムの魅力

- それぞれの講義が本当に充実しており、基本的な理論から最先端の内容まで学べたことは大きなメリットでした。行政の現場は日々の業務に追われがちですが、少し俯瞰したところで「まちの方向性をどう描くか」を、根拠に基づいて考える視点を得ることができました。民間企業から転職し試行錯誤の中で過ごしてきた自分にとって、行政職員としての背骨が通ったように感じています。
- 「社会調査法入門②－住民の声を聴く質的調査の基礎」が印象に残っています。インタビュー調査の基本を初心者にもわかりやすく教えていただき、PBLでも質的調査に挑戦しました。現状を正しく知ること、自分の思い込みではなく根拠をもとに考える重要性を深く実感した科目です。
- 初めて話す方とも自然に関われる仕組みが整っています。年齢や役職に関係なくフラットに話せる雰囲気があり、職場では出会えない幅広い世代・立場の方と関わったことは大きな財産になりました。公共政策に興味がある方だけでなく、キャリアの中で新しい視点を得たい方にも強くおすすめします。



第1期修了生

田中 泰臣様

(株式会社日立製作所勤務)

受講動機

私は公共分野のお客様を対象とした営業職に従事しています。現状を変える新しいチャレンジがしたいという想いを持つ中で、民間視点だけでは見えない、行政の方々が抱える問題意識や、組織としての意思決定ロジック、現場で働く皆さんの想いを理解し、より良い提案活動につなげたいという考えから参加しました。

プログラムの魅力

- 受講を通じて、当初抱えていた問題意識への“解”を得るとともに、自分が認識できていなかった領域や課題が多く存在することに気づきました。講義や議論を重ねる中で、公共分野の方々が抱える課題観や意思決定プロセス、背景構造まで、以前より高い解像度で理解できるようになりました。
- 自治体DXに関する科目が印象に残っています。自治体DXが単なる技術導入ではなく“人口減少社会に向けた行財政改革そのもの”であるという視点は非常に大きな収穫でした。講義後の質疑でも講師の先生が真摯に答えてくださります。PBLでは、官民・年代・職歴が全く異なるメンバーと、当初は前提の違いから議論がかみ合わない場面もありましたが、フレームワークを土台に対話で差異を埋めていくプロセス自体が大きな学びとなりました。
- 公民問わず社会課題の解決に向けて何かしたいと考えている方に心からおすすめします。講師陣の最前線の知見、温かいサポート、受講生同士の本音の議論、そのすべてがかけがえのない経験になります。

早稲田公共政策カレッジ 修了生の声

受講動機

職場からの声かけがきっかけです。私は2025年9月末まで観光庁に在籍しており、その経験に加えて、**どんどん多角化していく政策を立案していくための学びを得て**、帰任後に観光だけでなく様々な観点で自市での仕事に生かす方法を学びたいと思い、受講を決めました。

プログラムの魅力

- 行政職として親和性のある講義が多く、**なんとなく知っているものの深く理解していなかった概念をわかりやすく学ぶことができました**。どの講義も学びがありおもしろく、講義が長いと感じたことはほとんどありませんでした。
- 受講者の皆さんとのつながりも大きな収穫で、本来であれば中々お会いできない方や全国の他自治体の職員の方とも気軽に連絡が取れ、講義外でも業務上のヒアリングのお手伝いができる関係を築けたことが本当に良かったです。
- PBLでは**所属や年齢、役職も関係なくフラットに意見を交わし、提案を練ることができ**、多様な視点を入れて考えることの重要性和政策づくりの視野が広がることを実感しました。行政では「あるある」なことが民間企業の方にはカルチャーショックになる場面も多く、行政への理解や認識を深める機会にもつながりました。
- 政策を現場に落とし込むための交渉力やプレゼンテーション力も学ぶことができます。行動経済学の本を読むなど学ぶ意欲が刺激され、この講座そのものが私にとっての“ナッジ”になったと感じています。



第1期修了生

軽部 有輝様

(福井県越前市役所勤務)

早稲田公共政策カレッジ 修了生の声



第1期修了生

柴崎 祐希様

(西武鉄道株式会社勤務)

受講動機

社会人として自身のキャリアを考えたときに、もっと勉強をしたいと思ったことがきっかけで受講しました。体系的に学べる履修証明プログラムであること、シラバスの内容が魅力的だったこと、コーディネーターである稲継先生、そして主催組織である早稲田大学への信頼感が決め手となり受講をしました。

プログラムの魅力

- 講義やPBLを通じて、ロジックツリーの活用やエビデンスの集め方といった、業務に直結する問題解決スキルを学ぶことができました。また、国会中継を見て「今は予算編成の時期だから」と考えるようになるなど、日々のニュースと公共政策を関連付けて捉える視点を得られたことも大きな収穫でした。これまで点で存在していた情報が線となってつながり、一気に視野が広がった実感があります。
- 民間企業勤めで行政と関連する業務経験も学習経験もなかったため、「公共政策学」とは何か具体的なイメージが湧かず不安もありましたが、コア科目にて基礎から丁寧にわかりやすく教えてくださり、公共政策学を学ぶための“土台”を固めることができます。PBL活動では、講義でインプットした内容をその週のPBLですぐにアウトプットする流れが学びの定着につながります。
- 初心者でも安心して学べる環境が整っており、勇気を出して一步踏み出せば想像を超える学びと仲間との出会いがあるとお伝えしたいです。受講して本当に良かったと心から思っています。

早稲田公共政策カレッジ 修了生の声

受講動機

私は入庁16年目で、経済部、被災地派遣、教育委員会、福祉部などを経て現在に至ります。昨今、どの自治体においても市民ニーズが複雑化・多様化する一方、財政状況の厳しさや“公務員離れ”の課題に直面しています。このような課題がある中で、自分は行政職員としてどのように業務に取り組むべきかを学ぶ機会が必要だと感じ、本講座に参加しました。

プログラムの魅力

- ・ 業務に直結する学びが多く、特に「物事をどう深掘りするか」「得られた手法の確かさをどう示すか」を理論として学べた点が大きな収穫でした。また、コミュニケーション能力の高い仲間と率直に意見交換できたことが印象的で、社会を良くしていこうという前向きなメンバーと議論を重ねた経験は大きな財産となりました。
- ・ 交渉力や合意形成に関する科目が印象に残っています。複雑化・多様化する市民ニーズの中で、考え方を押しつけるのではなく“共通の価値”を見つけて擦り合わせることの重要性や、住民の賛否が割れる場面でどのように納得感を生み出すかといった実践的なプロセスを学び、理論と実践の両面から“合意形成の本質”をつかむ機会になりました。
- ・ 4か月・毎週土曜日に通うハードルや、受講生の雰囲気への不安があるかもしれませんが、実際に始まると先生方からの刺激や仲間との学びが本当に楽しく、毎週があっという間に過ぎる時間でした。多くの方にこの経験を味わっていただきたいですし、これから受講される皆さんと同窓生としてお会いできることを楽しみにしています。



第1期修了生

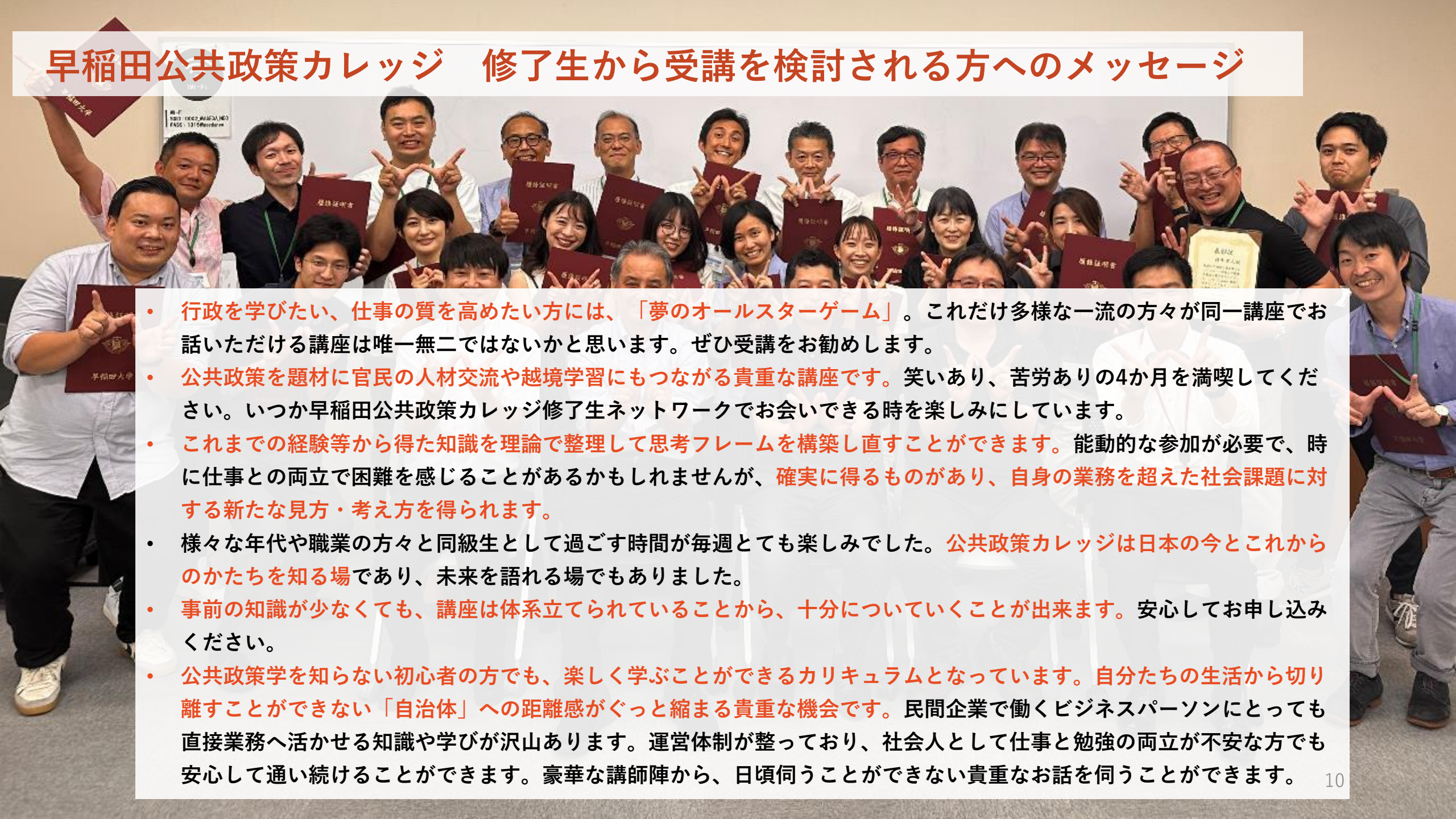
半田 雄大様

(神奈川県茅ヶ崎市役所勤務)

早稲田公共政策カレッジ 修了生から受講を検討される方へのメッセージ

- もし受講を迷っている場合、少しでも受けてみたいと思える要素があるなら、まずは受けてみてはどうかと思います。仕事をしながらこのプログラムをこなすのは決して簡単なことではないと思いますが、その分知識や経験だけでなく、人とのつながりなど得られるものは予想している以上のものだと思います。きっと受講を終えた時には心から参加してよかったと思える瞬間が訪れるはずです。
- 公務員として知っておかなければならない内容から、知っていれば必ず役に立つ発展的な内容まで、これから公務員として働き政策形成を行ううえで知っておくべき項目が網羅されており、どの講義も面白いため、ぜひ受講してほしい。
- ご自身のお仕事と日本の行政課題について問題意識を持っている行政職の方、公共分野でビジネスをする中でより良い官民連携の在り方を模索する方、日々の生活の中の解決したい困りごとに対して行政はどの様に取り組んでいるのか知りたい市民の立場の方、様々なお立場の方の知りたい・考えたい・語り合いたい・一緒に何かを作りたいと言ったニーズに応えて下さる素晴らしいカリキュラムです。ぜひ、ご受講をご検討下さい。
- 当初は受講期間の長さや誰も知らないところに飛び込むことに大きな不安がありましたが、専門性の高い先生方の講座により、これまで経験則で実践してきたことに確証を持てたり、新たな気づきを得られたりすることができました。また、学ぶ意識やコミュニケーション能力が高い他の参加者の皆様から多くの刺激をいただいたこと、今後につながる関係性を構築できたことはかけがえのないものとなりました。この経験を多くの方に得て欲しいと思うとともに、いつの日か意見交換できる日を楽しみにしています。

早稲田公共政策カレッジ 修了生から受講を検討される方へのメッセージ

- 
- 行政を学びたい、仕事の質を高めたい方には、「夢のオールスターゲーム」。これだけ多様な一流の方々が同一講座でお話いただける講座は唯一無二ではないかと思います。ぜひ受講をお勧めします。
 - 公共政策を題材に官民の人材交流や越境学習にもつながる貴重な講座です。笑いあり、苦勞ありの4か月を満喫してください。いつか早稲田公共政策カレッジ修了生ネットワークでお会いできる時を楽しみにしています。
 - これまでの経験等から得た知識を理論で整理して思考フレームを構築し直すことができます。能動的な参加が必要で、時に仕事との両立で困難を感じることもあるかもしれませんが、確実に得るものがあり、自身の業務を超えた社会課題に対する新たな見方・考え方を得られます。
 - 様々な年代や職業の方々と同級生として過ごす時間が毎週とても楽しみでした。公共政策カレッジは日本の今とこれからのかたちを知る場であり、未来を語れる場でもありました。
 - 事前の知識が少なくても、講座は体系立てられていることから、十分についていくことができます。安心してお申し込みください。
 - 公共政策学を知らない初心者の方でも、楽しく学ぶことができるカリキュラムとなっています。自分たちの生活から切り離すことができない「自治体」への距離感がぐっと縮まる貴重な機会です。民間企業で働くビジネスパーソンにとっても直接業務へ活かせる知識や学びが沢山あります。運営体制が整っており、社会人として仕事と勉強の両立が不安な方でも安心して通い続けることができます。豪華な講師陣から、日頃伺うことができない貴重なお話を伺うことができます。